

令和元年度第1回 市民と市長の対話集会

市長と語ろう！

ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 令和元年（2019年）10月26日（土）
午後2時30分から午後4時まで
- 2 開催場所 市役所本館 303会議室
- 3 参加者 12人



ほっとミーティングの様子

4 市長あいさつ

皆さん、こんにちは。平塚市長の落合 克宏です。本日はお忙しい中、「市長と語ろう！ほっとミーティング」に御参加いただきありがとうございます。

この「市長と語ろう！ほっとミーティング」は、市民の皆さんのお話を伺い、御意見や御提案を市政に反映することを目的として取り組んでいます。平成23年、市長に就任した一期目は東日本大震災が発生した直後だったこともあり、安心安全をテーマとした対話集会を行いました。翌年は、それぞれの地区の魅力をいかすような意見を伺うため、まちづくりをテーマとして行いました。

平成27年、二期目以降は、今後目指すまちづくりの計画として策定した「ひらつかNEXT」を基にした対話集会を実施しています。「ひらつかNEXT」の具体的な重点施策は、「強みを活かしたしごとづくり」と「子どもを産み育てやすい環境づくり」、「高齢者がいきいきと暮らすまちづくり」、「安心・安全に暮らせるまちづくり」となります。これを踏まえて、対話集会では、「子育て・高齢福祉・安心安全」をテーマに据えて、率直な御意見を伺ってきました。

さて、今回の対話集会では、参加者を25歳から29歳に限定し開催させていただきました。市民の皆さんからの御意見というのは、幅広い世代で聞いていく必要があるのですが、なかなか若い世代の方々の率直な御意見を聞く機会が少ないため、年齢を限定し開催させていただきました。

日本全体としては人口が減少している中、自治体として維持していくためには、若い世代の方々に平塚市を選んでいただき、住み続けていただくということが大切になります。皆さんの市政への関心がもっと増えることで、まち全体の魅力アップにつなげることができるのではないかと考えています。本日はよろしく申し上げます。

5 主なミーティングの内容

① まちづくりについて

【参加者】

頻繁に試合観戦をしているわけではないですが、「湘南ベルマーレ」に興味があります。ただ、監督に関する問題でマイナスに報道されているのは残念です。

【参加者】

平塚市に来て、富士山がきれいに見えることに驚きました。湘南平も眺望が素晴らしく、景色がきれいに見えるという点は自慢できると思います。

ららぽーと湘南平塚ができたことで買い物も便利になりました。

治安については、以前より良くなったと感じます。湘南ひらつか七夕まつりは素行が悪い若者が集まるイメージがありましたが、だいぶ行きやすい雰囲気になってきたと思います。

【参加者】

平塚市は海岸がきれいなので、インスタグラムで撮る素材として魅力的です。ただ、近くで見るとごみが多くて、泳ぎたいとは思えません。

【参加者】

テニスコートが多くて、利用しやすいです。ですが、現地に直接行って申請しないといけないのは不便です。ネット予約などができるように利便性を高めてほしいです。

【参加者】

市内を走るバスの本数が多く交通の便が良いです。しかし、本厚木に向かうバス路線、特に四之宮周辺の旧道はすぐに渋滞し、運行ダイヤが乱れます。また、道が狭くて歩行者の安全面も懸念されます。

【参加者】

実際に住んでみて、治安は悪くないと感じます。元々のイメージでは、夜道を歩くことができないレベルだと思っていました。

長く平塚市に住んでいる友人は、住み続けたいまちとして認識していますが、他市に住んでいる友人は、いいイメージは持っていないようです。周辺に魅力的な街があれば、そちらに目がいくと思います。

【参加者】

平塚市は都内への交通アクセスが良く、海などの自然環境に恵まれています。ただ、そうした長所があるにも関わらず、目立った観光は見当たりません。体験型の観光も無く、魅力的な要素がないので注目されていません。

【参加者】

市内の図書館の老朽化が気になります。子どもと通っていますが、本の種類も少ないので、何度も行きたいとは思えません。

海老名市の図書館には、同じ建物内に蔦屋書店やスターバックスコーヒーがあります。子どもたちを遊ばせることができるキッズライブラリーもあり、わくわくする空間でした。平塚市の図書館もそうした施設であると嬉しいです。

【市長】

率直な御意見をいただき、ありがとうございます。

本市としては、湘南ベルマーレに対して長年応援しています。スポーツ振興に大きく貢献し、素晴らしい活躍をしています。しかしながら、最近になって報道された監督の問題もあり、チーム自体に元気がありません。改めて、襟を正した上で奮起してもらいたいです。皆さんと共に応援していきたいと考えています。財政的な面でも、練習グラウンドやスタジアムの使用料を減免することで最大限のサポートをしています。平塚市の宝であるという認識に変わりはありません。

湘南平の眺望は本市の自慢の一つであり、来場者も着実に増えています。開園してから60周年という長い歴史を積み重ねている貴重な観光資源です。こうした観光資源を活用しながら、若い世代への体験型観光を含めた提案をしていきたいと考えています。様々な視点で発信を続けていきたいです。

海岸エリアのごみ問題は課題です。海岸自体は神奈川県が管理しており、定期的にごみの片付けをしていると聞いています。きれいな海岸を維持することで魅力化を図るようしなければなりません。現在、龍城ヶ丘プール跡地の再整備を進めているところです。より一層、安心安全できれいな状態で皆さんに活用してもらいたいと考えています。

公共施設は本市に数多くあります。多くの方に使っていただきたいので、予約は便利な仕組みを作っていかなければなりません。煩雑であるということであれば、検討していく必要があります。

バスの本数は多いのですが、それでも移動が不便であるとよくお声をいただきます。公共交通の充実を図るため、公共交通網の計画を作成して進めていく

予定です。大神地区でのツインシティ計画により、新たな住居、雇用が生み出されます。それを支えるため、平塚駅から大神地区、大神地区から本厚木駅の移動路線を拡充させたいと考えています。

また、公共交通の充実を図ることで、高齢者の免許返納を進めていくことができると思います。網の目のように公共交通の路線を増やすことで、皆さんが便利に安全に使っていただけるように努めていきたいです。

治安の面で、本市のイメージが良くないというのはよく聞きます。しかし、イメージとは反対に、現実には刑法犯認知件数は減少しており、治安の悪化が進んでいるということはありません。自転車の盗難は多いという面はありますが、犯罪の多い街というのは間違ったイメージであり、安全な街であるということをしかりと発信していかなければならないと考えています。

図書館については、確かに、海老名市や大和市などの施設はとても充実しており、魅力的だと思います。本市の図書館は建設から長い年月が経過し、老朽化が著しいです。したがって、こういった改修をしていくことで皆さんの需要に応えられるかどうか、財政的な面も含めて検討する必要があると考えます。

② 子育てについて

【参加者】

出産後に保育士さんから助言をいただけるのは、良かったです。平塚市は子育て支援に力を入れていると感じました。また、移動が大変なため、気軽にける子育て支援施設が近くにあるといいと思います。

【参加者】

総合公園は大きな公園で、子どもたちを水遊びさせたり、テントを立ててからお弁当を食べたり、一日ゆっくり遊べる貴重な場所です。

トイレがきれいになったので、おむつ替えが楽になったことはうれしいです。

【参加者】

子どもたちの健診の際に、ほかの親御さんと積極的に交流して、情報交換ができると思います。有益な情報収集ができることで、安心な子育てにつながるのではないのでしょうか。

【参加者】

子どもの頃から、海側に住んでいて、小学校では地域学習に力を入れていた

印象があります。地域に古くからある歴史について積極的に学習の時間が取られていたと思います。

【市長】

冒頭でも少し触れたのですが、本市では、選ばれるまちづくりを進めているところです。まちづくりの基本政策をまとめた総合計画「ひらつかネクスト」でも、子どもを産み育てやすい環境づくりを重点にとらえています。

若い世代の皆さんに来てもらって、選ばれるまちとなる。住み続けてもらい、子どもたちが生き生きとした環境で育っていく、そういったまちを作っていくことが私たちの仕事だと考えています。

人口減少社会は日本全体の課題です。神奈川県全体でも、来年に人口のピークを迎えると言われていています。一つの自治体だけでこうした課題を解決することは難しいのですが、子育てをしやすい、暮らしやすいまちを着実に作ることで、少しでもいい方向に向かっていけばいいと思います。将来を見据え、具体的な政策を進めていかなければなりません。

例えば、医療費の無料化については、市長に就任した当初は小学校3年生までだったものを中学校3年生までに期間を延ばしました。

また、母子健康手帳を渡すと同時に手厚い相談体制が取れるよう、子育て世代包括支援センター「ひらつかネウボラルーム はぐくみ」を作りました。本市では生まれてから就学まで、特にしっかりと支援をしていくという考えをもっています。

平塚市民病院では、小児・周産期医療に力を入れています。小児・周産期医療では、平塚・中郡地域で二次救急医療を担う唯一の病院です。新生児への専用治療室をはじめ、産前産後の充実した医療体制が整っています。

平成29年の調査になりますが、神奈川県内33自治体の中で、本市は0歳児から4歳児までのお子さんの社会増が一番多くなりました。子育て世代にメリットのある環境づくりを進めていくことで、少しずつですが成果が出ていると感じています。

子育てをする親御さん同士の情報交換の場として、つどいの広場を市内に5か所設置しています。交流の場所をもっと作ってほしいという声はいただいていますので、課題と認識しています。

③ 防災、防犯、交通安全について

【参加者】

先日、大きな台風が発生したとき、避難所に行きました。結果的に大きな被害はなく安堵したところです。しかし、現実問題として、被害が拡大したような場合、避難所が市民の受け皿として機能できるのかと心配があります。

【参加者】

治安の面でいうと、平塚市に引っ越しをするとき、知人からは危ないから行かないほうがいいと言われました。やはり、内と外では、安全に関するイメージのギャップが大きいと感じました。住んでみて危険な目に遭ったことはありません。以前、川崎市に住む犯人が平塚市の海岸に死体を遺棄した事件など、凶悪事件が目立つことも大きいと思います。

【参加者】

治安については悪いイメージが先行してしまっているのではないのでしょうか。また、平塚市は工業地域と住宅地域の距離が近いために、良好な住宅環境というイメージがしにいくというのも関係しているのかもしれませんが。

【参加者】

防災の関係で気になることは、市民の防災意識が低いことです。先日の台風では避難勧告が出ていましたが、避難所に行こうと考える人は少なかったです。

【参加者】

東日本大震災のとき、宮城県仙台市に住んでいて、ライフラインが完全に止まったことがあります。その後、仙台市では防災への対策に重点的に取り組み、常に危機感をもっていったと思います。

平塚市ではすぐに海岸がありますが、津波への意識も高くありません。危機感を持ち、意識させるような周知活動をしなさいといけません。

【参加者】

市内の海側に住んでいますが、危機感は低いかもしれません。大丈夫だろうという意識はあります。自身はマンションの上階にいたので、避難所へ移動したほうが身に危険があるのではないかと考えます。避難勧告や避難指示が出ても、どう行動をとるのが正解なのか迷う時があります。

【市長】

先日の台風19号への対応ですが、避難所への避難人数は最高で約5,400人であり、避難所は56か所を開設しました。

今回は、相模川の上流にある城山ダムの貯水量制限を超えるような雨量でした。緊急放流の報道もあったことから、多くの方が避難されました。今後も、こうした雨が降るような状況が予想されますから、今回の対応を検証して、次にいかしていかなければならないと考えています。

本市には相模川と金目川があり、歴史的に多くの水害に遭ってきました。そうした点を踏まえて、現在は護岸のハード整備をしており、災害に強いまちづくりをしてきた経過があります。

皆さんの防災意識を高めることで、災害が発生したとしても、被害を最小限に食い止めたいと考えており、担当部署に指示しています。

今回の災害を教訓とすると、避難所への移動は夜暗くなってからは控える判断も必要になります。その際は、出来るだけ高い建物への避難、2階以上に避難する垂直避難が大切です。市内でも四之宮地区で床上浸水や床下浸水の被害がありました。地域では障がいのある方もおりますし、どう支えていくかは課題としてあります。引き続き、検証しなければなりません。

ハザードマップも周知を進めていき、自分の住むエリアの安全性を認識していただければ、いざというときの助けになると思います。

台風の場合は早い段階から気象情報に留意し、この段階でどう行動するかということを事前に決めていくことが効果的です。まずは身の安全の確保を優先するための行動をとるようにしなければなりません。

治安に対するイメージについては、確かに払拭するのは難しい面があります。数的には犯罪件数は確実に減っていますが、皆さんのイメージをよくするためには、安全であることを着実に発信していく必要があります。警察や防犯協会と協力するとともに、地域における防犯カメラの設置に補助を出しています。

凶悪事件の発生が平塚市であると、そこだけをピックアップされてしまう傾向はあります。確かに実際の事件はありますが、全体の犯罪件数や傾などの情報をお伝えすることで、安心・安全であることをアピールしなければいけません。

④ 産業、労働、市民協働等について

【参加者】

平塚市は始発電車があるので、都内へも通勤しやすいメリットがあります。ただ、災害が発生したときに電車が止まってしまうと、通勤できません。そうした面を解決するために、市内にテレワークができるスペースがあるといいのではないのでしょうか。

【参加者】

平塚市に行きたいという動機付けを高めるために、より一層の情報発信は必要ではないのでしょうか。若い人たちが目にする媒体に情報を出していくように努めていくことも一つだと思います。

【参加者】

平塚駅からのバスですが、工場への労働者向けの直通バスがあると便利だと思います。一般の地域住民とも分けられるので、渋滞緩和にもつながります。

【参加者】

介護に関する仕事をしていますが、一人暮らしの高齢者に対する支援を積極的に行ってほしいと思います。そうした方々は情報を収集することが難しいため、災害時の避難などでも弱者になってしまいます。

【市長】

本市としても働き方改革は進めていかないといけないと感じるところです。テレワークについても、仕事をする上での一つの選択肢だと思います。そうした拠点づくりが労働環境の向上につながるのであれば、そうした点も進めていきたいと考えます。

平塚市の魅力を発信する一つに、湘南ひらつか七夕まつりがあります。一時減ってしまった飾りもだいぶ増えてきました。市民と協働して作成した飾りも多くあり、中心街の賑わいをより一層PRしていきたいです。

本市の特徴として、昼夜間人口がほぼ1.0に近い数値というのがあります。これは、住む場所と働く場所が近いということを表しています。近いということの良い点として捉えるという視点も必要だと思います。

一人暮らしの高齢者の方への対策として、在宅時緊急通報システムなどの見守りサービスを展開しています。在宅時の安否確認ができるようになっており、

多くの方に利用してもらえよう、伝えていくようにします。

高齢者への防災対策としては、防災行政無線の放送内容を聞くことができる防災ラジオを有償配布しており、利用してもらえるとありがたいです。

現在、本市には約5,000人以上の外国籍の方が住んでおり、活躍しています。多文化共生を進めることで、外国籍の方からも働きやすい、住みやすいという環境づくりも必要だと痛感しています。

【参加者】

平塚の未来を担う子どもたちを支える教育現場では、先生方の人数が足りていない状況が続いています。しっかりと一人一人に向き合う時間が捻出できずに苦勞しています。こうした教育現場の状況を少しでも知っていただければと思います。

【市長】

教育現場における先生方の労働環境については、報告を受けています。特に小学校の先生方は教科担任ではないので、余計に負担が重い部分があります。子どもたちの教育環境と共に、先生方の労働環境にも目を向ける必要があります。教員の数は神奈川県在所管となりますが、学習支援補助員などを通して、学習のサポートに努めているところです。教育現場に支障が生じないようにすることも市として責任をもって取り組まなければならないと考えています。

6 市長によるまとめ

本日は皆さんから率直な御意見を多くいただき感謝しています。様々なところで若い世代に活躍してもらいたいと考えています。少しでも気になった点があれば、市長への手紙をとおして御意見をいただければ幸いです。

5年後、10年後も輝けるまちであるために、着実に政策を進めていきたいと思えます。本日はありがとうございました。

7 アンケートの回答

アンケートの回答数 12件

問1 本日の対話集會に参加いただいた理由はありますか。(主な選択肢を1つ選択)

- ・直接対話をする貴重な機会だったから 6人
- ・自分自身が対話集會の参加者に選ばれたから 4人
- ・市に対して、意見や要望があったから 0人
- ・同世代による対話集會で参加しやすそうだったから 2人
- ・その他 0人

問2 本日の対話集會はいかがでしたか。(主な選択肢を1つ選択)

- ・とてもよかった 4人
- ・よかった 8人
- ・まあまあ 0人
- ・あまりよくなかった 0人
- ・よくなかった 0人

問3 本日の対話集會について、感想があればご記入ください。

- ・このようなミーティングがあると知らず、初めて手紙がきたとき、とても興味を持ちました。今後平塚を支えていくのは子育て世代の私たちだと思うので、今回だけで終わらず違った形としても協力できることがあればと思いました。機会をいただきありがとうございました。
- ・とても楽しかったです。平塚市を前より好きになったと思います。若者に頑張ってもらいたいという割に、③高齢者が生き生きというのは？となりました。若者へのケアも考えてもらえるとよいと思います。
- ・今回、貴重な機会に参加することができてとても良かったです。同世代の方々がそれぞれ様々な意見を持っていることを知れました。また、機会があれば参加したいと思います。

- なかなか市長とお話しする機会はないので、参加できて良かったです。「平塚」をもっと身近に考えることができました。このような機会がもっとあればいいなと思いました。
- 様々なバックグラウンドをもつ同世代の方々や市長とのお話ができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。また同じメンバーで定期的に意見交換ができるとよいかと思います。これからも自分自身を含めて、平塚市に魅力を感じてもらえるよう SNS を通じて#hiratsukagood で平塚市の良いところを発信していきます。
- 貴重な経験ができました。ありがとうございました。落合市長の意見にしっかり向き合ってください姿勢がとても良かったです。
- 非常に勉強になりました。発言できなかったですが、古い物件の有効活用として、リフォーム・リノベーション支援をご検討いただけると幸いです。
- 今回平塚のことを知れたことがとても良かった。また次回の対話や市長に意見を言える場をつくってもらいたい。
- 生活の拠点（特に昼）は東京なので、なかなか知る機会がないことを知れた特に子育て支援の充実の点、仕事で平塚にきた方の視点
- 自分たちの抱える問題等を市が取り組もうとしている事を、市長の口から聞けてとてもいい時間でした。
- 様々な話を聞くことができ良かったです。私としては「スポーツ」の内容として、ベルマーレに関する話をもっとしたかったです。平塚市の魅力の1つになっているが、専用スタジアムに関して中心地が茅ヶ崎などに変わってしまうのかなと不安に感じているからです。

以 上